

校内研修計画

甲州市立大和小学校

1 学校課題

大和地区は自然に恵まれており、周囲を山に囲まれた静かな地域である。近年は、地域の中央を高速道路が走り、幹線道路も交通量が増加し春や秋など観光客が多数訪れ、賑わいを見せる。大和町は武田家終焉の地としても知られており、多くの史跡が点在する古い歴史を持つ町である。

本校は、児童数が少ないため人間関係も固定されがちであり、多様な意見や価値観に触れる機会が少ない。決まったことや指示されたことに一生懸命に取り組むことはできるものの受け身になりがちで、自ら考え、主体的に取り組もうとする姿勢は十分だとは言えない。また、学校を離れ地域に帰ると、同年代がほとんどいない状態となる子どもも多い。そのためか、人との関わり方や円滑なコミュニケーションがとれない児童も見られる。そこで、様々な機会を捉え、児童会の集会活動での縦割り活動や低中高学年の合同体育などを通して、人間関係を築く能力や社会性を育み、異年齢集団の中で共に助け合うことができる環境作りを進めている。

2 研究主題 「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」 ～ 言語活動の充実を通して ～

3 主題設定の理由

(1) 新学習指導要領総則から

学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、児童の発達段階を考慮して、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するように配慮しなければならない。

昨年度から完全実施となった新学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能の習得はもちろん、
思考力・判断力・表現力の育成
主体的に学習に取り組む態度の育成
言語活動を充実し、言語に関する能力の育成

が求められている。問題解決的な学習を重視し、思考力・判断力・表現力の育成を目指すとともに、児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習が促されるよう工夫することや、各教科等の指導において、どのように言語活動の充実を図るかは、今日的な課題である。

(2) 昨年度の研究から

本校では、昨年度より、「言語活動」についての研究を進めてきた。各教科等において、「考える場」と「伝え合う場」を設定し、言語活動の充実を通じた授業づくりを模索してきた。日常の取り組みとしては、伝え合う活動の基礎となる「話すこと・聞くこと」に焦点を当てて、各学年で「話し方名人表」「聞き方名人表」などを作成し、発表の仕方や聞き方について、意識して指導してきた。また、生活ノートを作成し、家庭と連携を取りながら指導にあたる中で、意欲的に学ぶ児童の育成を目指してきた。

これらの取り組みを通し、教科等の特質を踏まえた言語活動を充実させる指導をさぐるという面では、一定の成果をあげることができた。しかし、児童の伝え合う活動が十分に深まっていないという課題点もあげられた。

そこで、今年度は、昨年度の研究を継続させていくとともに、伝え合う活動がより深まるために、「考える場」と「伝え合う場」の手立てをさらに工夫していきたい。また、学び合い、高め合う授業を展開していくための基盤となる学習集団にも目を向けて研究を進めていきたい。甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの取り組みの一つとして行う「Q-U」アンケートを分析、活用していく中で、何でも言い合える雰囲気づくりを目指し、「伝え合い活動」の質の向上を図っていきたい。授業づくり、学習集団づくり、学習環境づくりの3つの視点から、具体的な取り組みを進めていく中で、研究主題である「高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」に迫りたい。

4 研究の具体的内容与方法

【研究内容】教科等の特質を生かした言語活動を充実させた授業づくり 「考える場」「伝え合う場」の工夫	
【方法】 ア 理論研究会 イ 検証授業（低学年・高学年） ウ 一人一実践授業	【検証方法】 ・児童の意識調査（年に2回実施） ・教師の見取り（検証授業，一人一実践）

【研究内容】意欲的に学ぶ学習集団づくり	
【方法】 ア 学習規律の確立 イ Q-U アンケートの分析と活用	【検証方法】 ・Q-U アンケート（年に2回実施）

【研究内容】学びの基盤となる学習環境作り	
【方法】 ア 生活ノートの作成と活用 イ 家庭学習の充実 ウ 言語環境を整えるための掲示 その他 ・教育課程研修会報告 ・NRT，つまずき診断テスト，学力テストの結果についての考察	【検証方法】 ・生活ノートの考察 ・家庭学習記録の考察

5 年間研修計画

研修内容	提案・担当	形態	月 日	T・C 要請
今年度の研究計画	研究主任	全 体	4月11日	
今年度の研究計画	研究主任	全 体	4月25日	
理論研究	研究主任	全 体	5月 9日	
理論研究	研究主任	全 体	5月23日	
理論研究	研究主任	全 体	6月 6日	
ブロック研究	ブロック長	ブロック	6月27日	
ブロック研究	ブロック長	ブロック	7月 4日	
個人研究	個 人	個 人	7月11日	
Q - U アンケート分析・検討 教育課程研修会報告会	ブロック長 教務主任	ブロック 全 体	8月22日	
ブロック研究	ブロック長	ブロック	9月 5日	
ブロック研究	ブロック長	ブロック	10月 3日	
授業案検討	ブロック長	全 体	10月10日	
ブロック研究	ブロック長	ブロック	10月17日	
低学年ブロック（3年）検証授業・研究会	研究主任	全 体	10月24日	
ブロック研究	ブロック長	ブロック	10月31日	
授業案検討	ブロック長	全 体	11月 7日	
高学年ブロック（4年）検証授業・研究会	研究主任	全 体	11月21日	
個人研究	個 人	個 人	12月19日	
研究のまとめ	ブロック長	ブロック	1月 9日	
研究のまとめ	研究主任	全 体	1月30日	
本年度の成果と課題	研究主任	全 体	2月20日	
来年度の研究に向けて	研究主任	全 体	2月27日	
研究紀要作成	研究主任	全 体	3月 6日	

